

平成27年度特別会計予算

国民健康保険をはじめとする8特別会計の予算総額は、178億3530万円で、前年度と比較すると5.5%の増額となっています。なお、平成27年度から墓地事業特別会計（予算額1億3000万円）が新設され、秋に開園予定の市営墓地「袋井市夢の丘墓園」の整備を進めます。

平成27年度企業会計予算

水道事業会計は23億7400万円で、前年度と比較すると0.7%の増額、病院事業会計は11億5800万円で、前年度と比較すると15.5%の増額となっています。

平成26年度一般会計補正予算（第5号・第6号）

〈第5号〉主に、各種事業費の確定に伴い5億6800万円の減額をするものです。

〈第6号〉国の補正予算に措置された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した事業の追加により、1億1800万円を増額するものです。

これにより補正後の予算総額は316億5000万円となりました。
〈第6号補正の主なもの〉

地域消費喚起・生活支援型

●袋井市プレミアム商品券発行事業……………7400万円

地方創生先行型

- 世界に飛び出せメイドイン袋井推進事業……………800万円
- シティプロモーション推進事業……………800万円
- 子育てするなら袋井市「プロジェクト推進事業」……………800万円

条例（主なもの）

●袋井市総合健康センター条例の制定について
保健・予防、医療、介護・福祉分野の拠点となる袋井市総合健康センターの設置に伴い、新たに条例を制定するものです。

●袋井市墓地条例の制定について

みつかわ夢の丘公園内に整備する市営墓地の管理運営に必要な事項について、新たに条例を制定するものです。

人事（敬称略）

●副市長

吉岡伸夫副市長の辞任に伴い、新たな副市長の選任について原案のとおり同意しました。

鈴木 茂（堀越二丁目）

その他

●第2次袋井市総合計画の基本構想について

この基本構想は、平成28年度から37年度まで10年間のまちづくりの長期的な指針です。袋井市が目指すまちの将来像を「活力と創造で未来を先取る 日本一健康文化都市」と掲げ、「子どもがすこやかに育ちみんなが健康で幸せに暮らすまち」「活力にあふれ 潤いと安全・安心を実感できるまち」「つながりと交流を大切に 豊かな市民力で未来を拓くまち」の三つの基本目標を定めるものです。

平成27年度袋井市一般会計予算について

反対：高橋美博議員（無党派）

費用対効果、成果を検証し、見直すべき事業である「ふくろい東京交流会」や、ロシアへの販売実績もわずかである「ロシア向け袋井茶輸出プロジェクト」に関する費用が計上されていること、さらには、「マイナンバー制度」は膨大な個人情報国が一手に握ることへの懸念があることなどから賛成できない。

賛成：岡本幹男議員（新生ふくろい）

「未来を先取る」視点をテーマとした予算である。静岡モデル防潮堤整備事業・平成の命山整備などの防災施策や、健康づくりをトータルサポートする総合健康センターの開設など、将来に向けた不安の種を事前に解消し、人や時代の流れを見据えた取り組みが随所に見られる前向きな予算である。また、実質公債費比率や自主財源比率は概ね良好な値を示していることから評価し、賛成する。

討論（主なもの）